アユが産卵しやすい野洲川をめざして！

～地域の皆さんとアユの産卵床づくりを実施しました～

国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所

R8. 10. 28

○琵琶湖河川事務所では、野洲川自然再生の一環として、守山市と連携し、アユの産卵床づくりに取り組んでいます。この取組を通じて、特に琵琶湖特産のコアユの産卵環境を改善することを目指しています。
○今年度は5月・8月の2回にわたり、過去の産卵床づくりの結果と課題を共有し、バーブエの設置を体験する、住民向けのワークショップを実施してきました。
○今回は、アユの生態や産卵映像について改めて講師から説明しました。その後、河床の大きな石を取り除き、川の流れを変化させるバーブエを設置しました。最後は河床を耕うんし、産卵に適した環境の整備を行いました。
○現時点では今回実施した箇所での産卵はまだ確認されていませんが、今後も調査を実施し、その結果を参加者にも共有する予定です。

〈概要〉
日　時：令和8年9月27日（日）9:30～12:00
場　所：野洲川新庄大橋付近
参加者：18名（大人11名・子ども7名）
　　守山市・琵琶湖河川事務所他15名
主　催：近畿地方整備局琵琶湖河川事務所
連　携：守山市 環境生活部 環境政策課

〈位置図〉　○:実施箇所



野洲川新庄大橋付近

説明



バーブエ設置



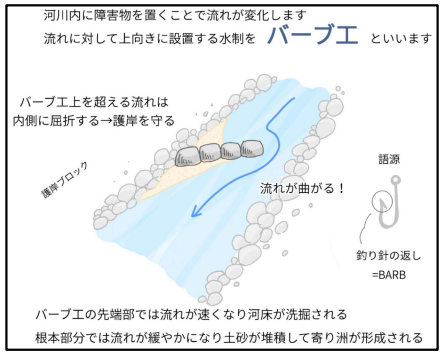


河床の大きな石を詰めた土のうを作ってバーブエを設置し、ある程度流れが速い箇所や水深が深い箇所を作りました。
多様な流れを作ることで、アユが産卵しやすい河床を形成することを目的としています。

記念撮影

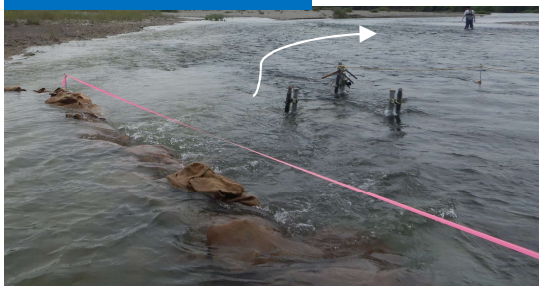


今回の参加者の中には、ワークショップから継続して参加していただいている方もおられました。



出典）「はじめての魚の居場所づくり vol2」
滋賀県ホームページより
https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/kasenkoan/337822.html

作業後の川の変化



バーブエの設置作業の結果、流れや水深に変化ができたことが、見た目だけでなく流速測定でも確認されました。
その後は河床を掘り起こして大きな石を取り除き、アユが産卵しやすいとされている、砂礫が多く柔らかい河床となるよう整備を行いました。

国土交通省　近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所　流域治水課
〒520-2279
大津市黒津4-5-1
TEL 077-546-0867

【ホームページ】
事務所　アクア琵琶

【X(旧Twitter)】
事務所　WS琵琶

流域治水

Mother Lake Goals
変えよう、あなたと私から